

- きじはこえにだしてよんでみよう。
- ないようについて、だれかとはなしてみよう。

ちい 小さな赤 夏 訪れ



南相馬、ハッチョウトンボ
 湿原に夏の訪れを告げるハッチョウトンボ。
 大きさは2センチ程度。南相馬市原町区。

南相馬市原町区の湿地では、日本一
 小さなトンボ「ハッチョウトンボ」が真
 赤に色づき、夏の訪れを告げている。
 ハッチョウトンボは体長約2センチで1
 円玉の直径ほどの大きさ。成熟した雄
 は真赤だが、雌や未熟な雄は腹に横
 じま模様があり、小さなアブに見える。
 雄は、湿地に生える背丈の低い植物に
 止まって縄張りを守っている。
 福島大客員教授の三田村敏正さん
 (65)によると、生息に適した湿地がない
 と生息できないため、湿地の水がなくな
 っても、水が多くなっても生息できず、
 環境の変化に敏感という。

▲ 6月25日 福島民友新聞掲載

あなたは、今年、どこで、どんな種類のトンボに出会えるのかな？



きじをよんでおもったこと、みんなとはなしてかんじたことをかこう。(120字くらい)
